

☆「新たな発見と楽しみ」(池澤綾祐実)

10月18日から12月4日まで、パナソニックセンター東京で開催されている特別企画展「文化のちから」日本の伝統文化・芸術と最新のデジタル技術が融合した体験が、今まで私達が知り得なかった新たな発見と楽しみを感じる事だろう。

「文化のちから」では和服や浮世絵などの趣向を凝らした様々な展示が行われている。その中から紹介するのは「日本の紋」の展示だ。紋、紋様とはユニークな形や色彩が特徴である日本伝統のデザインであり、それぞれ様々な意味と願いが込められているそう。ここでは2つの紋、紋様を紹介する。

「七宝(しちほう)」という同じ大きさの円を四分の一ずつ重ねた紋様は円形が円満・調和という意味が込められている。もう一つ「麻の葉(あさのは)」という六角形を規則的に配置した紋様には麻が丈夫でまっすぐ伸びる植物であることから、子供の健やかな成長の願いが込められているそう。どちらも名前からは想像できない意味や願いが込められている。ここで紹介した以外にもたくさんの紋、紋様を見ることができる。そしてデジタル技術を使った工夫された展示も面白い。

「文化のちから」是非一度来てみたらいかがでしょうか。